

宮本三郎と 関西美術院 京都洋画の過渡期

宮本三郎
没後50年
特別展

小松市立
宮本三郎美術館

2024年

6/15(土) ▶ 8/25(日)

休館日：月曜日(7/15、8/12を除く)、7/16(祝)、8/13(祝)

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料：一般300円、高校生以下無料

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5
TEL 0761-20-3600

宮本三郎「婦女三容」1935年、
カンヴァスに油彩、152.0×209.7cm、
小松市立宮本三郎美術館所蔵



第I章 関西美術院 —浅井忠と鹿子木孟郎—

第II章 黒田重太郎と宮本三郎

第III章 二科会

第IV章 二紀会

宮本三郎
没後50年
特別展

京都洋画の過渡期

宮本三郎と 関西美術院

宮本が関西美術院で学んだ大正期は、京都洋画壇の指導的立場が浅井、鹿子木から黒田たちへと引き継がれ、次世代の巨匠たちが頭角を現してきた京都洋画の過渡期でした。その渦中にいた宮本を、関西美術院をとりまく「京都」の文脈に照らし合わせることで、宮本の作品に新たな視座を生み出します。

本展覧会では、京都洋画の黎明期に活躍した浅井と鹿子木の作品を紹介し、師弟関係にあった黒田と宮本の作品を紹介します。また、黒田と宮本の交流は関西美術院にとどまらず、二科会、二紀会においても続いたことから、両者の作品を二科会、二紀会と関連づけながら展示します。

今から約百年前にあたる一九二三年九月、関東大震災が日本を震撼させました。当時、東京の川端画学校洋画部で学んでいた宮本三郎は、京都に住む叔父伊三松のもとに身を寄せ、関西美術院に入学します。一九〇六年三月に開院した関西美術院では、ヨーロッパに渡り日本の洋画が目指すべき指針を追求した浅井忠や鹿子木孟郎らの活躍が、梅原龍三郎、安井曾太郎、黒田重太郎らを育みました。そして、浅井と鹿子木の両者から指導を受けた黒田は、若かりし頃の宮本の師となりますが、宮本がどのような教育を受け、その成果がどのように作品に発揮されたかについては、具体的に語られていません。しかし、今なお京都から画家を輩出している関西美術院の歴史の中に、宮本も名を連ねていることは事実であり、関西美術院の伝統が宮本を刺激したことは想像できるでしょう。

今から約百年前にあたる一九二三年九月、関東大震災が日本を震撼させました。当時、東京の川端画学校洋画部で学んでいた宮本三郎は、京都に住む叔父伊三松のもとに身を寄せ、関西美術院に入学します。一九〇六年三月に開院した関西美術院では、ヨーロッパに渡り日本の洋画が目指すべき指針を追求した浅井忠や鹿子木孟郎らの活躍が、梅原龍三郎、安井曾太郎、黒田重太郎らを育みました。そして、浅井と鹿子木の両者から指導を受けた黒田は、若かりし頃の宮本の師となりますが、宮本がどのような教育を受け、その成果がどのように作品に発揮されたかについては、具体的に語られていません。しかし、今なお京都から画家を輩出している関西美術院の歴史の中に、宮本も名を連ねていることは事実であり、関西美術院の伝統が宮本を刺激したことは想像できるでしょう。



1. 浅井忠《武士山狩図》1905年、カンヴァスに油彩、134.0×195.0cm、京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵、AN. 3279
2. 宮本三郎《海女》1934年、カンヴァスに油彩、194.5×259.0cm、小松市立宮本三郎美術館所蔵
3. 鹿子木孟郎《白衣の婦人》1901-1903年頃、カンヴァスに油彩、70.3×54.2cm、京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵、AN. 2298
4. 鹿子木孟郎《樹陰》明治末-大正初年頃、カンヴァスに油彩、33.6×21.1cm、京都市美術館（京都市京セラ美術館）所蔵
5. 黒田重太郎《朝涼》1935年、カンヴァスに油彩、141.5×130.0cm、京都市美術館（京都市京セラ美術館）所蔵
6. 浅井忠《雲の風景》（陶画図案）1903-1907年頃、紙に水彩、22.0×22.0cm、星野画館所蔵（旧黒田重太郎所蔵）
7. 浅井忠《南国風景》（陶画図案）1903-1907年頃、紙に水彩、22.0×22.0cm、星野画館所蔵（旧黒田重太郎所蔵）
8. 関西美術院アトリエ。（2024年撮影）

2024年

6/15 日

8/25 日

トークイベント **要申込**

いくつかの言葉 × いくつかの視点 Some words × Some perspectives

前半 | 講師による講演 後半 | 講師および参加者による語り

日時：8/11 日 13:00～16:00 参加費：入館料 定員：50名（先着順）

会場：絵本館ホール夢の本棚（宮本三郎美術館隣）

申込：宮本三郎美術館に電話（0761-20-3600） 6/15 日 より受付開始

講師 演題	並木 誠士 京都工芸繊維大学特定教授 美術工芸資料館館長	関西美術院と関西美術院
	中山摩衣子 京都市京セラ美術館学芸員	黒田重太郎について
	齊藤 翔吾 小松市立宮本三郎美術館学芸員	宮本三郎《海女》について

学芸員によるギャラリートーク

日時：6/15 日、7/20 日、8/17 日 参加費：入館料
いずれも 11:00～12:00 申込不要

イベントの詳細



小松市立 **宮本三郎美術館**

〒923-0904 石川県小松市小馬出町 5
☎ 0761-20-3600

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
入館料：一般300円、高校生以下無料
※20名以上の団体は一般250円
※こまつミュージアム・バス対応 ※市内65歳以上無料
※障がい者手帳、ミライロIDアプリ提示者
および介助者1名は入館料免除

アクセス
●北陸自動車道小松ICより車で10分
●JR小松駅より徒歩15分、タクシー5分
●バス「市役所前」又は「京町」下車、徒歩5分
※駐車場は、周辺の市営駐車場を利用

美術館ホームページ

